

造作・下地材積算編

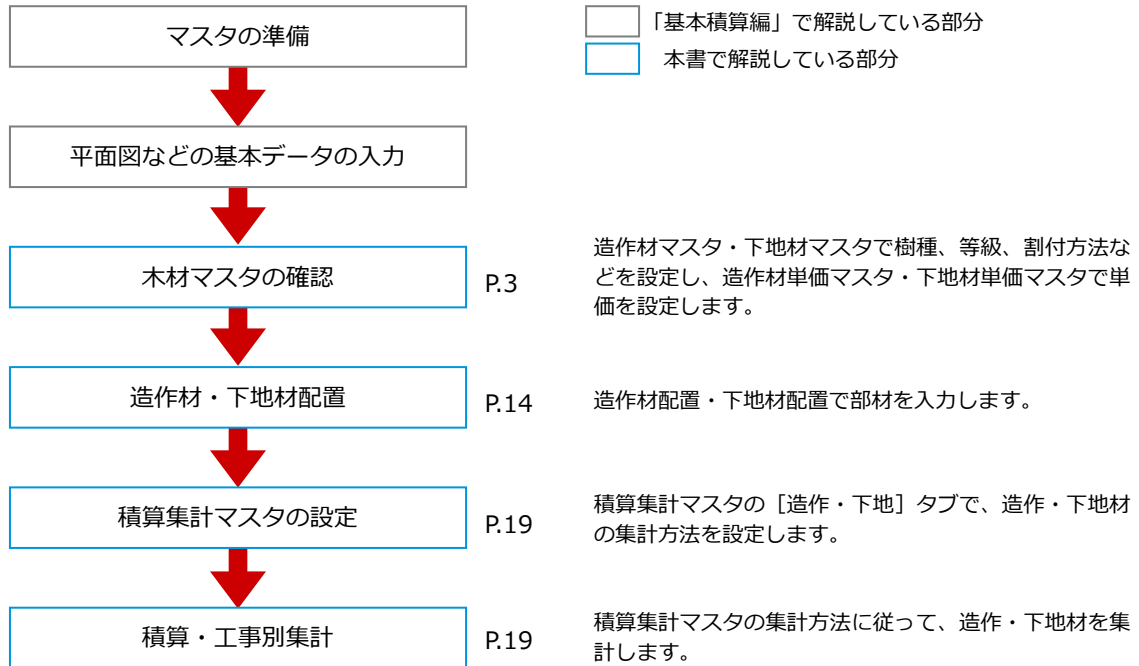
本書は「基本積算」を習得された方を対象に、造作材・下地材の木拾いを行う場合の基本的な操作の流れを解説したマニュアルです。

積算マスタの構築と積算集計までの基本的な操作の流れについては、ZERO 操作ガイドの「積算見積」にある「基本積算編」を参照してください。また、構造材の木拾いや基礎、設備の積算を行う場合は、「詳細積算編」を参照してください。

1 造作・下地材積算の基本的な流れ	2
2 作業環境の準備	2
3 造作材マスタの登録	3
4 造作材単価マスタの登録	6
5 下地材マスタの登録	9
6 下地材単価マスタの登録	11
7 造作材配置	14
8 下地材配置	16
9 積算集計処理	19

1 造作・下地材積算の基本的な流れ

次のフロー図は、造作・下地材積算の基本的な流れと、本テキストでの各項目の解説内容を示したものです。



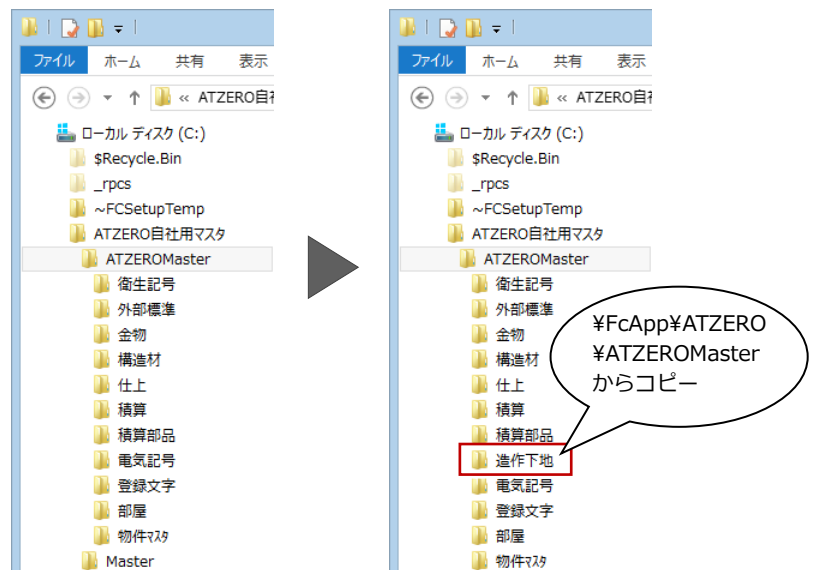
2 作業環境の準備

ここでは、自社用マスタ構築後も標準のマスタがそのまま使えるように、自社用マスタを別の場所にコピーして構築していきます。

マスタフォルダを準備する

エクスプローラを開いて、自社用マスタ用のフォルダを構築しましょう。ここでは、「基本積算編」と「詳細積算編」で使用したフォルダを使用します。

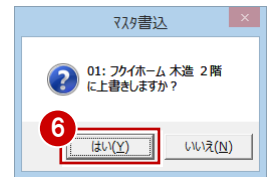
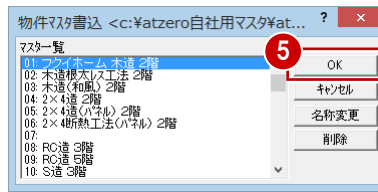
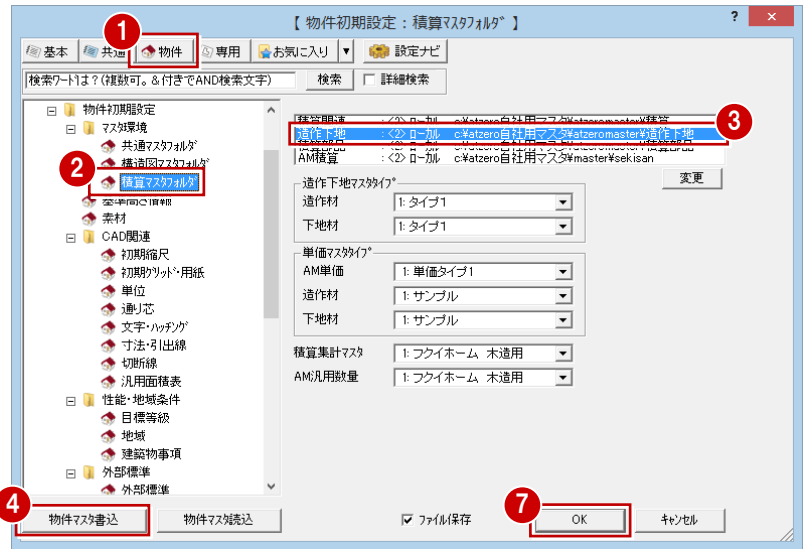
- ZERO のマスタフォルダ
「●:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster」から「造作下地」フォルダをコピーします。
⇒ 積算に関するマスタについては、「基本積算編」P.82 参照



マスタの参照先を変更する

基本積算を行った物件を開いて、造作下地マスタの参照先を変更しましょう。

- 1 2 [物件初期設定 (マスタ環境 – 積算マスタフォルダ)] ダイアログを開きます。
- 3 「造作下地」の参照先として自社用マスタのフォルダを「No.2」に登録します。
- ⇒ マスタ参照先の変更方法については、「基本積算編」P.9 参照
- 4 ~ 6 [物件マスタ書込] をクリックして、自社用の物件マスタを更新します。
- 7 [OK] をクリックします。



3 造作材マスタの登録

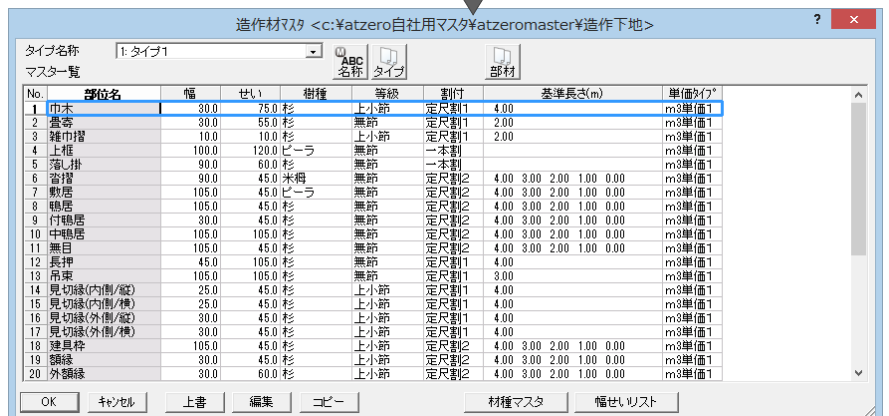
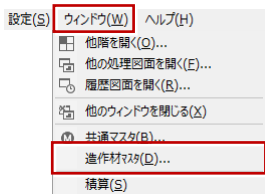
造作材マスタでは、造作材の断面寸法（幅、せい）、樹種、等級、割付方法などを設定します。

造作材配置で自動配置する部材の寸法型式や積算情報などの多くは造作材マスタから連動するため、造作材を配置する前に、必ず造作材マスタを確認しましょう。

造作材マスタを開く

- 1 2 [処理選択] ダイアログの [マスタ専用] タブをクリックし、[木造軸組構造] をクリックします。
- 3 [造作材] をクリックします。

※ 造作材配置では、[ウィンドウ] メニューの [造作材マスタ] から開けます。



マスタを複製する

マスタのタイプは9種類まで登録できます。ここでは、標準のマスタ「タイプ1」を参照して自社用のマスタを登録してみましょう。

- ① [タイプ名称] をクリックして、空いているマスタ (ここでは「3:」) を選びます。
- ② [タイプ] をクリックします。
- ③④ 複製したいマスタ (ここでは「1:タイプ1」) を選んで、[OK] をクリックします。
- ⑤ 確認画面で [はい] をクリックすると、「1:タイプ1」の内容が「3:」に複製されます。
- ⑥ [名称] をクリックします。
- ⑦⑧ 自社用マスタの名前 (ここでは「フクイホーム」) を入力して、[OK] をクリックします。
- ⑨ [タイプ名称] で「3:フクイホーム」が選ばれていることを確認します。

樹種・等級を登録する

- ① [材種マスタ] をクリックします。
- ② [樹種] で、使用する樹種の名称を登録します。ここでは、右図のように名称を変更します。
- ③ [等級] で、使用する木材の等級を登録します。
- ④ [OK] をクリックします。

造作材マスタの樹種・等級のセット

これらの樹種や等級は、造作材配置にて部材の属性変更で確認できます。

マスタの内容を編集する

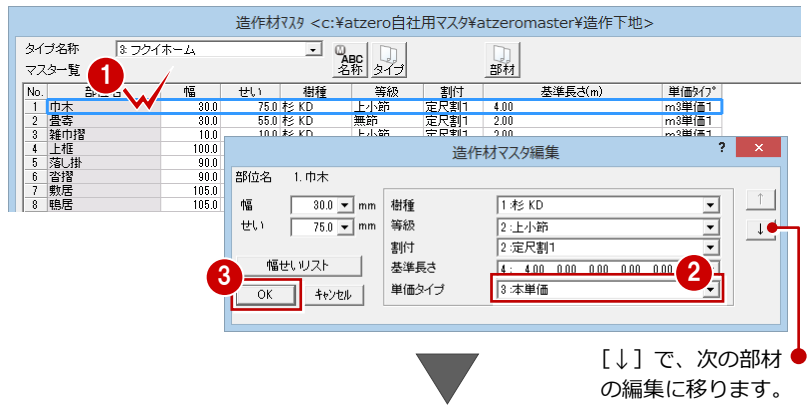
各部位の寸法型式や樹種、等級、割付方法、単価タイプなどを確認しましょう。

変更する場合は、次のように操作します。

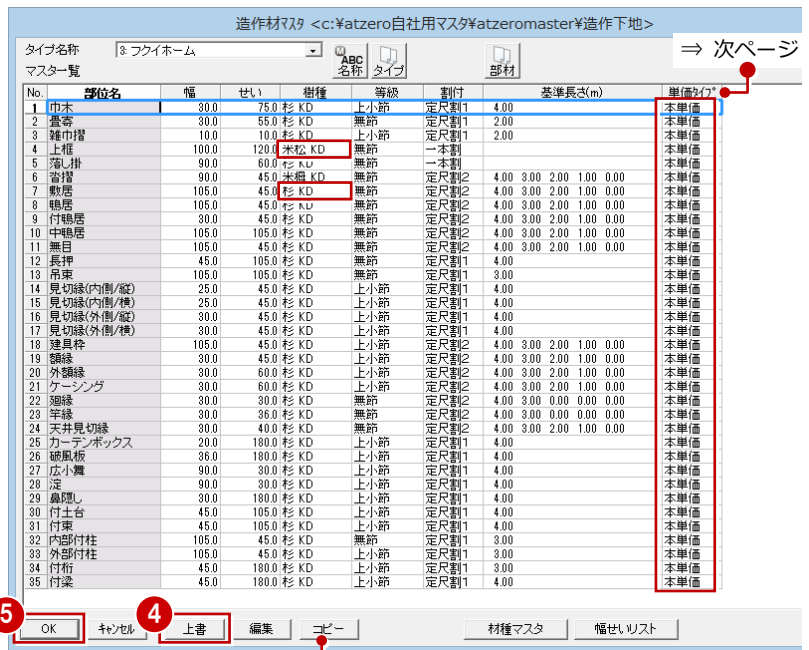
- ① 変更する部位（ここでは「巾木」）をダブルクリックします。
- ② 設定を確認または変更します。
ここでは、[単価タイプ]を「本単価」に変更します。
- ③ [OK] をクリックします。
同様に、他の部位も設定します。

⇒ 割付方法と基準長さについては、「詳細積算編」P.7 参照

- ④ [上書] をクリックして随時マスタを保存します。
- ⑤ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。



[↓] で、次の部材の編集に移ります。



● 造作材マスタの設定内容がクリップボードに複写されます。表計算ソフトなどに貼り付けることで、マスタの内容を出力できます。

他の部材の設定内容を複写するには

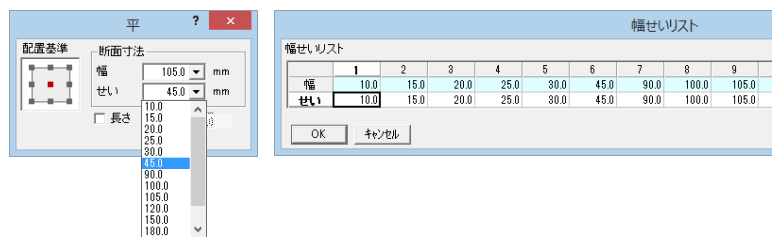
[部材] をクリックすると、他の部材の設定を複写できます。他のマスタタイプの部材からの複写も可能です。部位名以外の設定のすべてが複写されます。

幅・せいの連動

部位によって、部材属性の幅・せいは、造作材マスタの値から連動するものと、平面図などの図面から連動するものがあります。

部材の規格寸法を登録するには

部材の入カダイアログなどの [幅] [せい] で表示されるリストは、[造作材マスタ] ダイアログの [幅せいリスト] で登録できます。



4 造作材単価マスタの登録

造作材単価マスタでは、使用する木材の断面の大きさ、樹種、等級、長さによる定価、発注単価、見積単価を設定します。次の3種類の方法に対応しています。

- ・ m3単価1：木材の断面の大きさ別単価（円/m3）
- ・ m3単価2：樹種と等級別単価（円/m3）
- ・ 本単価：樹種と等級別単価（円/本）

ここでは、「本単価」を使って自社用の造作材単価マスタを作成してみましょう。

造作材単価マスタを開く

- 1 [処理選択] ダイアログより [造作材単価] をクリックします。



造作材単価マスタ

単価名称: 1 | サンプル | 変更

m3単価1 | m3単価2 | 本単価 |

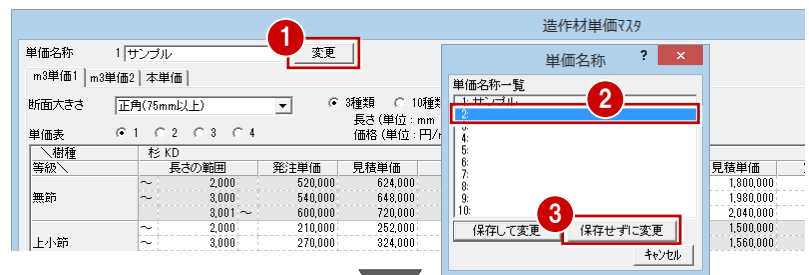
断面大きさ: 正角(75mm以上) | 3種類 | 10種類 | 長さ(単位: mm) | 価格(単位: 円/m3)

樹種	等級	長さの範囲	杉 KD			松			米松					
			発注単価	見積単価	定価	発注単価	見積単価	定価	発注単価	見積単価	定価			
無節	~	2,000	520,000	624,000	520,000	~	2,000	1,500,000	1,800,000	1,500,000	~	2,000	1,350,000	1,620,000
	~	3,000	540,000	648,000	540,000	~	3,000	1,650,000	1,980,000	1,650,000	~	3,000	1,450,000	1,740,000
	3,001 ~	600,000	720,000	600,000	3,001 ~	1,700,000	2,040,000	1,700,000	3,001 ~	1,500,000	1,800,000	3,001 ~	1,500,000	1,800,000
上小節	~	2,000	210,000	252,000	210,000	~	2,000	1,250,000	1,500,000	1,250,000	~	2,000	1,100,000	1,320,000
	~	3,000	270,000	324,000	270,000	~	3,000	1,300,000	1,560,000	1,300,000	~	3,000	1,250,000	1,500,000
	3,001 ~	300,000	360,000	300,000	3,001 ~	1,450,000	1,740,000	1,450,000	3,001 ~	1,300,000	1,560,000	3,001 ~	1,300,000	1,560,000
小節	~	2,000	160,000	192,000	160,000	~	2,000	850,000	1,020,000	850,000	~	2,000	800,000	960,000
	~	3,000	180,000	216,000	180,000	~	3,000	900,000	1,080,000	900,000	~	3,000	850,000	1,020,000
	3,001 ~	200,000	240,000	200,000	3,001 ~	1,000,000	1,200,000	1,000,000	3,001 ~	900,000	1,080,000	3,001 ~	900,000	1,080,000
1等	~	2,000	90,000	108,000	90,000	~	2,000	550,000	660,000	550,000	~	2,000	500,000	600,000
	~	3,000	96,000	115,200	96,000	~	3,000	550,000	660,000	550,000	~	3,000	550,000	660,000
	3,001 ~	102,000	122,400	102,000	3,001 ~	700,000	840,000	700,000	3,001 ~	600,000	720,000	3,001 ~	600,000	720,000

マスタを準備する

単価のタイプは10種類まで登録できます。ここでは、タイプ2に自社用のマスタを登録してみましょう。

- 1 [変更] をクリックします。
- 2 [単価名称] ダイアログで、空いているマスタ（ここでは「2:」）を選びます。
- 3 現在開いているマスタに編集を加えていないので、[保存せずに変更] をクリックします。
No.2のマスタに変わります。
- 4 マスタの名称（ここでは「フクイホーム」）を入力します。



造作材単価マスタ

単価名称: 2 | 変更

m3単価1 | m3単価2 | 本単価 |

断面大きさ: 正角(75mm以上) | 3種類 | 10種類 | 長さ(単位: mm) | 価格(単位: 円/m3)

樹種	等級	長さの範囲	杉 KD			松			米松					
			発注単価	見積単価	定価	発注単価	見積単価	定価	発注単価	見積単価	定価			
無節	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0
上小節	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0

造作材単価マスタ

単価名称: フクイホーム | 変更

m3単価1 | m3単価2 | 本単価 |

断面大きさ: 正角(75mm以上) | 3種類 | 10種類 | 長さ(単位: mm) | 価格(単位: 円/m3)

樹種	等級	長さの範囲	杉 KD			松			米松					
			発注単価	見積単価	定価	発注単価	見積単価	定価	発注単価	見積単価	定価			
無節	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0
上小節	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	~	0	0	0	0	~	0	0	0	0	~	0	0	0
	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0	0	0 ~	0	0	0

本書では、右図のような使用する木材と仕入価格の一覧を例に、造作材マスタを本単価で登録する手順を解説します。

サイズ (短辺) : 45、60、90、105、120
 サイズ (長辺) : 30、45、60、90、105、120
 長さ種類 : 3000、4000、5000

樹種	等級	サイズ		木材単価 (円/本)			
		短辺 mm	長辺 mm	3m	4m	5m	
杉 KD	無節	45	105	3,190	4,250	5,650	
				上小節	2,410	3,210	4,270
				小節	1,060	1,420	1,890
	一等	45	120	770	1,020	1,360	
				無節	3,830	5,110	6,800
				上小節	2,890	3,860	5,130
	無節	60	105	1,280	1,700	2,260	
				上小節	920	1,230	1,640
				小節	4,250	5,670	7,540
	一等	60	120	3,210	4,280	5,690	
				無節	1,420	1,890	2,510
				上小節	1,020	1,360	1,810
	無節	90	105	5,110	6,810	9,060	
				上小節	3,860	5,140	6,840
				小節	1,700	2,270	3,020
	一等	90	120	1,230	1,630	2,170	
				無節	6,380	8,510	11,320
				上小節	4,820	6,430	8,550
無節	120	105	2,130	2,840	3,780		
			上小節	1,530	2,040	2,710	
			小節	7,660	10,210	13,580	
一等	120	120	5,780	7,710	10,250		
			無節				
			上小節				

幅・せい・長さを設定する

- 1 [本単価] タブをクリックします。
- 2 単価を設定する [樹種] [等級] を選択します。ここでは、次のように選びます。
[樹種] : 杉 KD
[等級] : 無節
- 3 [幅/せい設定] をクリックします。
- 4~6 [せい] [幅] で木材の幅、せいの範囲を設定し、寸法の内訳をそれぞれ入力します。
- 7 [長さ種類] で材長の数を設定します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [上書] をクリックしてマスタを保存します。

単価名称: フライホーム
 m3単価1: m3単価2: 本単価

樹種: 1杉 KD 等級: 1無節

幅/せい設定

幅	長さの種類	せい
幅	長さの種類	せい
せい	幅	長さの種類
~1	30	45
~2	45	60
~3	60	90
~4	90	105
~5	105	120
~6	120	121

長さ (単位: mm) 価格 (単位: 円/本)

OK キャンセル

単価表

幅	長さの種類	せい	長さの種類
~30	長さの種類	~45	長さの種類
~45	長さの種類	~60	長さの種類
~60	長さの種類	~90	長さの種類
~90	長さの種類	~105	長さの種類
~105	長さの種類	~120	長さの種類
~120	長さの種類	~121	長さの種類

OK キャンセル 100% 上書 北へ 計算

造作材単価マスタを登録する

- 長さの範囲を入力する —
- 1 [長さの範囲] のセルを入力します (ここでは「3000」「4000」)。
 - 2 入力したセルを選択し、Ctrl キーと「C」キーを同時に押してコピーします。
 - 3 他の [長さの範囲] のセルで、Ctrl キーと「V」キーを同時に押して貼り付けます。

単価名称: 2 フライホーム
 m3単価1: m3単価2: 本単価

樹種: 1杉 KD 等級: 1無節

幅/せい設定

幅	長さの種類	せい
幅	長さの種類	せい
せい	幅	長さの種類
~1	3000	45
~2	4000	60
~3	4001	90
~4		105
~5		120
~6		121

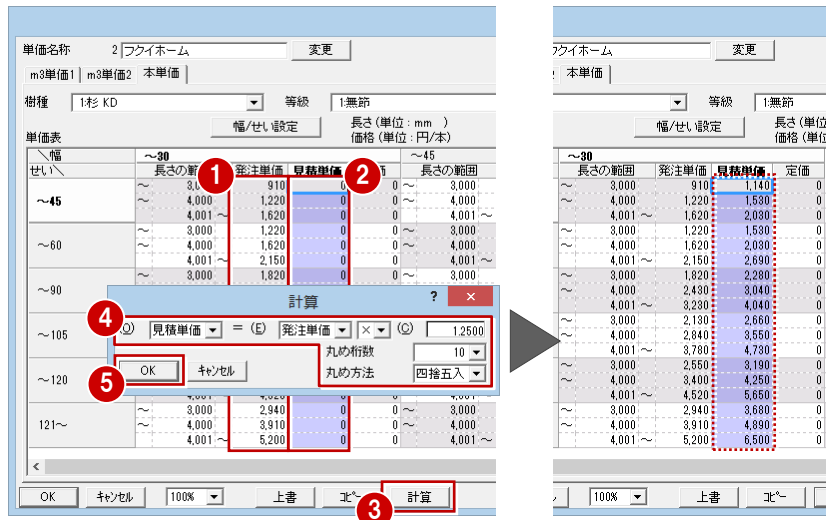
長さ (単位: mm) 価格 (単位: 円/本)

OK キャンセル 100% 上書 北へ 計算

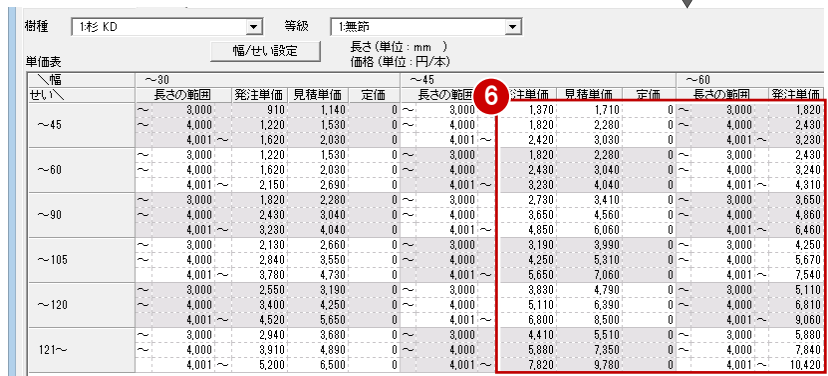
見積単価を発注単価の25%掛け(10円単位で四捨五入)に設定してみましよう。

－ 掛率を使って単価を設定する －

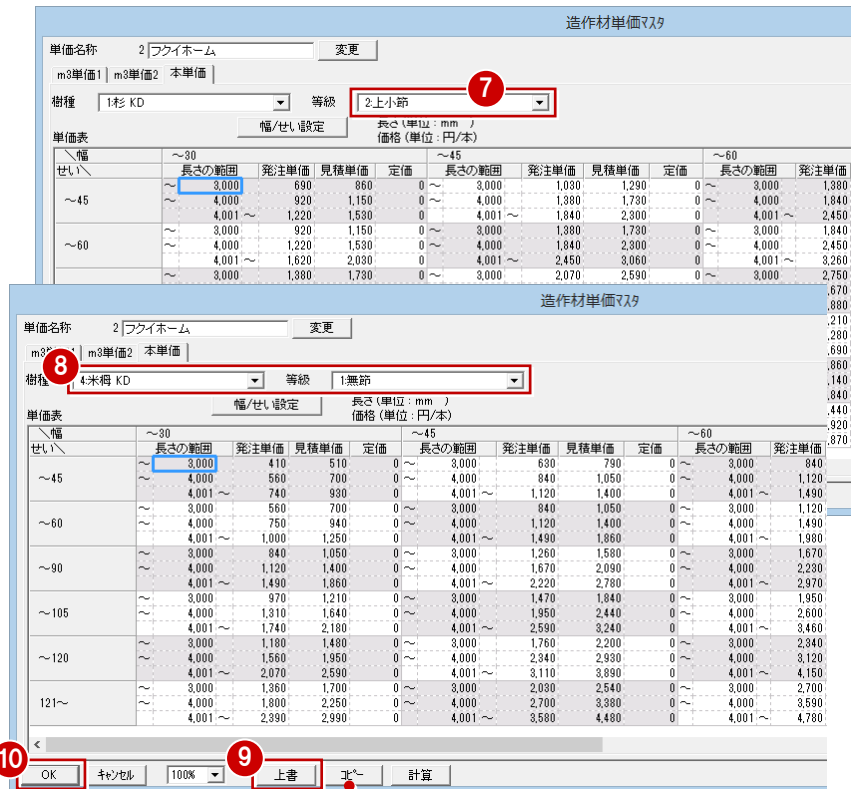
- 1 発注単価を入力します。
- 2,3 見積単価のセルを選択して、[計算]をクリックします。
- 4,5 [計算] ダイアログで次のように設定し、[OK] をクリックします。
「見積単価」 = 「発注単価」 × 1.25
[丸め桁数] : 10
[丸め方法] : 四捨五入
- 6 同様に、他の単価も入力します。



造作材単価マスタの入力について
造作材単価マスタでも、Excelからのコピー&貼り付けが有効です。
なお、造作材単価マスタには、元に戻す(Undo)・やり直し(Redo)の機能はありません。



- 7 [等級] を変更して、同じ樹種で他の等級の単価を設定します。
- 8 [樹種] [等級] を変更して、他の樹種の単価も設定します。
- 9 [上書] をクリックしてマスタを保存します。
- 10 [OK] をクリックして造作材単価マスタを終了します。



● 造作材単価マスタの設定内容がクリップボードに複写されます。表計算ソフトなどに貼り付けることで、マスタの内容を出力できます。

5 下地材マスタの登録

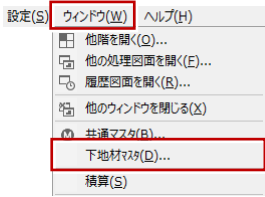
下地材マスタでは、下地材の断面寸法（幅、せい）、樹種、等級、割付方法などを設定します。

下地材配置で自動配置する部材の寸法型式や積算情報などの多くは下地材マスタから連動するため、下地材を配置する前に、必ず下地材マスタを確認しましょう。

下地材マスタを開く

① [下地材] をクリックします。

※ 下地材配置では、[ウィンドウ] メニューの [下地材マスタ] から開けます。



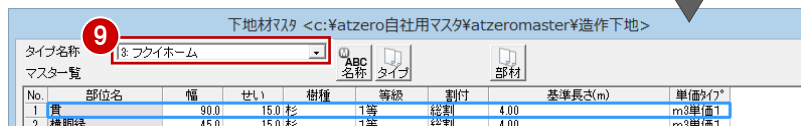
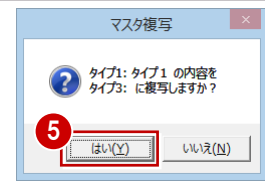
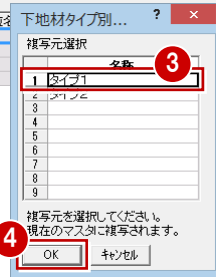
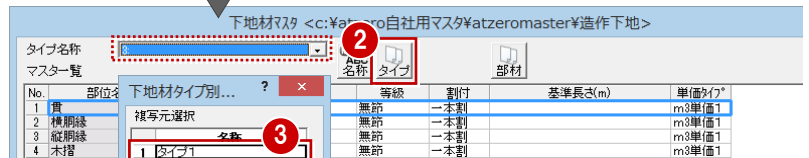
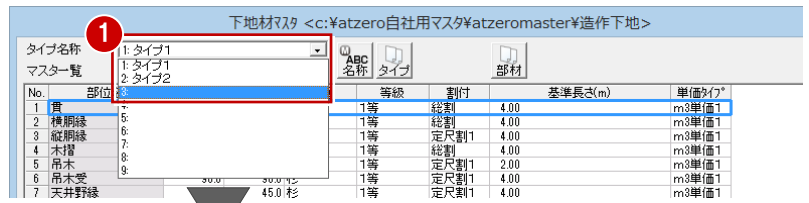
下地材マスタ <c:\%atzero\自社用マスタ\%atzeromaster\%造作下地>

No.	部位名	幅	せい	樹種	等級	割付	基準長さ(m)	単価(円)*
1	貫	90.0	15.0	杉	1等	総割	4.00	m3単価1
2	棟梁縁	45.0	15.0	杉	1等	総割	4.00	m3単価1
3	庇梁縁	45.0	15.0	杉	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
4	木摺	90.0	15.0	杉	1等	総割	4.00	m3単価1
5	吊木	45.0	45.0	杉	1等	定尺割1	2.00	m3単価1
6	吊木受	90.0	90.0	杉	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
7	天井野縁	45.0	45.0	杉	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
8	板野縁	45.0	15.0	杉	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
9	野縁受	45.0	90.0	杉	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
10	軒天野縁	45.0	45.0	杉	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
11	野地板	150.0	12.0	杉	1等	総割	2.00	m3単価1
12	荒床板	210.0	12.0	杉	1等	総割	2.00	m3単価1

マスタを複製する

マスタのタイプは9種類まで登録できます。ここでは、標準のマスタ「タイプ1」を参照して自社用のマスタを登録してみましょう。

- ① [タイプ名称] をクリックして、空いているマスタ（ここでは「3:」）を選びます。
- ② [タイプ] をクリックします。
- ③④ 複製したいマスタ（ここでは「1:タイプ1」）を選んで、[OK] をクリックします。
- ⑤ 確認画面で [はい] をクリックすると、「1:タイプ1」の内容が「3:」に複製されます。
- ⑥ [名称] をクリックします。
- ⑦⑧ 自社用マスタの名前（ここでは「フクイホーム」）を入力して、[OK] をクリックします。
- ⑨ [タイプ名称] で「3:フクイホーム」が選ばれていることを確認します。



樹種・等級を登録する

- 1 [材種マスタ] をクリックします。
- 2 [樹種] で、使用する樹種の名称を登録します。ここでは、右図のように名称を変更します。
- 3 [等級] で、使用する木材の等級を登録します。
- 4 [OK] をクリックします。

10	軒天野縁	45.0	45.0	杉	1等	定尺割1	4.00				m3単価1
11	野地板	150.0	12.0	杉	1等	総割	2.00				m3単価1
12	流床板	210.0	12.0	杉	1等	総割	2.00				m3単価1

材種マスタ

No.	樹種	等級	基準長さ	単位	m
1	杉 KD	1 無節			
2	松	2 上小節			
3	米松	3 小節			
4	エゾ松	4 1等			
5	米樺	5 2等			
6	米びら	6 並			
7	カナダ樺	7			
8		8			
9		9			
10		10			
11		11			
12		12			
13		13			
14		14			
15		15			
16		16			
17		17			
18		18			
19		19			
20		20			

下地材マスタの樹種・等級のセット

これらの樹種や等級は、下地材配置にて部材の属性変更で確認できます。

天井野縁 <1/1>

樹種	杉 KD	幅	せい
等級	1等		
割付方法	定尺割1		
基準長さ	1. 4.00 m		
	- m		
	- m		

マスタの内容を編集する

各部位の寸法型式や樹種、等級、割付方法、単価タイプなどを確認しましょう。変更する場合は、次のように操作します。

- 1 変更する部位（ここでは「貫」）をダブルクリックします。
 - 2 設定を確認または変更します。
ここでは、[単価タイプ] を「本単価」に変更します。
 - 3 [OK] をクリックします。
同様に、他の部位も設定します。
- ⇒ 割付方法と基準長さについては、「詳細積算編」P.7 参照
- 4 [上書] をクリックして随時マスタを保存します。
 - 5 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

下地材マスタ <c:\yatzero\自社用マスタ\yatzeromaster\造作下地>

No.	部位名	幅	せい	樹種	等級	割付	基準長さ(m)	単価タイプ*
1	貫	90.0	15.0	杉 KD	1等	総割	4.00	m3単価1
2	棟野縁	45.0	15.0	杉 KD	1等	総割	4.00	m3単価1
3	庇野縁	45.0	15.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	m3単価1
4	木摺	90.0	15.0	杉 KD	1等	総割	4.00	本単価
5	吊木	45.0	45.0	杉 KD	1等	定尺割1	2.00	本単価
6	吊木受	90.0	90.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
7	天井野縁	45.0	45.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
8	板野縁	45.0	15.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
9	野縁受	45.0	90.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
10	軒天野縁	45.0	45.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
11	野地板	150.0	12.0	杉 KD	1等	総割	2.00	本単価
12	流床板	210.0	12.0	杉 KD	1等	総割	2.00	本単価

下地材マスタ編集

部位名: 1. 貫

幅: 90.0 mm, せい: 15.0 mm

樹種: 1 杉 KD, 等級: 4 1等, 割付: 4 総割

基準長さ: 4. 4.00 0.00 0.00 0.00 0.00

単価タイプ: 3 本単価

[↓] で、次の部材の編集に移ります。

下地材マスタ <c:\yatzero\自社用マスタ\yatzeromaster\造作下地>

No.	部位名	幅	せい	樹種	等級	割付	基準長さ(m)	単価タイプ*
1	貫	90.0	15.0	杉 KD	1等	総割	4.00	本単価
2	棟野縁	45.0	15.0	杉 KD	1等	総割	4.00	本単価
3	庇野縁	45.0	15.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
4	木摺	90.0	15.0	杉 KD	1等	総割	4.00	本単価
5	吊木	45.0	45.0	杉 KD	1等	定尺割1	2.00	本単価
6	吊木受	90.0	90.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
7	天井野縁	45.0	45.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
8	板野縁	45.0	15.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
9	野縁受	45.0	90.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
10	軒天野縁	45.0	45.0	杉 KD	1等	定尺割1	4.00	本単価
11	野地板	150.0	12.0	杉 KD	1等	総割	2.00	本単価
12	流床板	210.0	12.0	杉 KD	1等	総割	2.00	本単価

下地材マスタの設定内容がクリップボードに複写されます。表計算ソフトなどに貼り付けることで、マスタの内容を出力できます。

他の部材の設定内容を複写するには

[部材] をクリックすると、他の部材の設定を複写できます。他のマスタタイプの部材からの複写も可能です。部位名以外の設定のすべてが複写されます。

幅・せいの連動

部位によって、部材属性の幅・せいは、下地材マスタの値から連動するものと、平面図などの図面から連動するものがあります。

部材の規格寸法を登録するには

部材の入力ダイアログなどの[幅][せい]で表示されるリストは、[下地材マスタ]ダイアログの[幅せいリスト]で登録できます。

吊木

幅: 45.0 mm, せい: 45.0 mm

幅せいリスト

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
幅	25.0	30.0	45.0	90.0	105.0	120.0	150.0	180.0	210.0
せい	12.0	15.0	18.0	21.0	30.0	45.0	54.0	90.0	105.0

6 下地材単価マスタの登録

下地材単価マスタでは、使用する木材の断面の大きさ、樹種、等級、長さによる定価、発注単価、見積単価を設定します。次の3種類の方法に対応しています。

- ・ m3単価1：木材の断面の大きさ別単価（円/m3）
- ・ m3単価2：樹種と等級別単価（円/m3）
- ・ 本単価：樹種と等級別単価（円/本）

ここでは、「本単価」を使って自社用の下地材単価マスタを作成してみましょう。

下地材単価マスタを開く

- 1 [下地材単価] をクリックします。



下地材単価マスタ

単価名称 1 | サンプル 変更

m3単価1 | m3単価2 | 本単価

断面大きさ 正角(75mm以上) 8種類 10種類

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/m3)

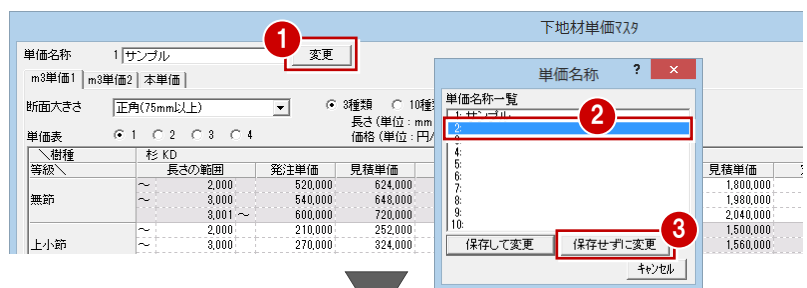
樹種	杉 KD	松		
等級	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
無節	2.000	520,000	624,000	520,000
	3.000	540,000	648,000	540,000
	3.001 ~	600,000	720,000	600,000
上小節	2.000	210,000	252,000	210,000
	3.000	270,000	324,000	270,000
	3.001 ~	300,000	360,000	300,000
小節	2.000	180,000	216,000	180,000
	3.001 ~	200,000	240,000	200,000
	3.000	90,000	108,000	90,000
1等	2.000	96,000	116,000	96,000
	3.001 ~	100,000	120,000	100,000
	3.001 ~	100,000	120,000	100,000

OK キャンセル 100% 上書 計算

マスタを準備する

単価のタイプは10種類まで登録できます。ここでは、タイプ2に自社用のマスタを登録してみましょう。

- 1 [変更] をクリックします。
- 2 [単価名称] ダイアログで、空いているマスタ（ここでは「2:」）を選びます。
- 3 現在開いているマスタに編集を加えていないので、[保存せずに変更] をクリックします。No.2のマスタに変わります。
- 4 マスタの名称（ここでは「フクイホーム」）を入力します。



下地材単価マスタ

単価名称 2 | 変更

m3単価1 | m3単価2 | 本単価

断面大きさ 正角(75mm以上) 8種類 10種類

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/m3)

樹種	杉 KD	松		
等級	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
無節	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
上小節	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0

下地材単価マスタ

単価名称 フクイホーム | 変更

m3単価1 | m3単価2 | 本単価

断面大きさ 正角(75mm以上) 8種類 10種類

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/m3)

樹種	杉 KD	松		
等級	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
無節	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
上小節	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0

幅・せい・長さを設定する

- 1 [本単価] タブをクリックします。
- 2 単価を設定する [樹種] [等級] を選択します。ここでは、次のように選びます。
[樹種] : 杉 KD
[等級] : 無節
- 3 [幅/せい設定] をクリックします。
- 4~6 [せい] [幅] で木材の幅、せいの範囲を設定し、寸法の内訳をそれぞれ入力します。
- 7 [長さ種類] で材長の数を設定します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [上書] をクリックしてマスタを保存します。

下地材単価マスタ

単価名称 2 [フアイホーム] 変更

m3単価1 | m3単価2 本単価

樹種 1杉 KD 等級 1無節

幅/せい設定

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/本)

幅	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
せい\	~105	0	0	0
~105	~	0	0	0
~120	~	0	0	0

幅/せい設定

せい 6 行

幅 7 列

長さ種類 3

せい	幅	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
~1	45	30	0	0	0
~2	60	45	0	0	0
~3	90	60	0	0	0
~4	105	90	0	0	0
~5	120	105	0	0	0
6~	121	120	0	0	0

OK キャンセル

幅/せい設定

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/本)

幅	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
せい\	~30	0	0	0
~45	~	0	0	0
~60	~	0	0	0
~90	~	0	0	0

OK キャンセル 100% 上書 計算

下地材単価マスタを登録する

- 長さの範囲を入力する -

- 1 [長さの範囲] のセルを入力します (ここでは「3000」「4000」)。
- 2 入力したセルを選択し、Ctrl キーと「C」キーを同時に押してコピーします。
- 3 他の [長さの範囲] のセルで、Ctrl キーと「V」キーを同時に押して貼り付けます。

単価名称 2 [フアイホーム] 変更

m3単価1 | m3単価2 本単価

樹種 1杉 KD 等級 1無節

幅/せい設定

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/本)

幅	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
せい\	~30	3,000	0	0
~45	~	4,000	0	0
~60	~	4,001	0	0
~90	~	0	0	0
~105	~	0	0	0
~120	~	0	0	0
121~	~	0	0	0

Ctrl+C

Ctrl+V

見積単価を発注単価の 25% 掛け (10 円単位で四捨五入) に設定してみましょう。

- 掛率を使って単価を設定する -

- 1 発注単価を入力します。
- 2,3 見積単価のセルを選択して、[計算] をクリックします。
- 4,5 [計算] ダイアログで次のように設定し、[OK] をクリックします。
[見積単価] = 「発注単価」×1.25
[丸め桁数] : 10
[丸め方法] : 四捨五入

単価名称 2 [フアイホーム] 変更

m3単価1 | m3単価2 本単価

樹種 1杉 KD 等級 1無節

幅/せい設定

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/本)

幅	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
せい\	~30	3,000	910	3,000
~45	~	4,000	1,220	4,000
~60	~	4,001	1,620	4,001
~90	~	3,000	1,220	3,000
~105	~	4,000	1,620	4,000
~120	~	4,001	2,150	4,001
121~	~	3,000	1,820	3,000
		4,000	2,430	4,000

計算

見積単価 = (E) 発注単価 * 1.25

丸め桁数 10

丸め方法 四捨五入

OK キャンセル 計算

単価名称 2 [フアイホーム] 変更

m3単価1 | m3単価2 本単価

樹種 1杉 KD 等級 1無節

幅/せい設定

長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/本)

幅	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
せい\	~30	3,000	910	1,140
~45	~	4,000	1,220	1,530
~60	~	4,001	1,620	2,030
~90	~	3,000	1,220	1,530
~105	~	4,000	1,620	2,030
~120	~	4,001	2,150	2,690
121~	~	3,000	1,820	2,290
		4,000	2,430	3,040
		4,001	3,230	4,040
		3,000	2,130	2,660
		4,000	2,840	3,650
		4,001	3,790	4,730
		3,000	2,550	3,190
		4,000	3,400	4,250
		4,001	4,620	5,650
		3,000	2,940	3,680
		4,000	3,910	4,890
		4,001	5,200	6,500

100% 上書 計算

- 6 同様にして、他の単価も入力します。
[樹種] [等級] を変更して、他の樹種・等級の単価も設定します。
- 7 [上書] をクリックしてマスタを保存します。
- 8 [OK] をクリックして下地材単価マスタを終了します。

下地材単価マスタの入力について
 下地材単価マスタでも、Excel からのコピー＆貼り付けが有効です。
 なお、下地材単価マスタには、元に戻す (Undo) ・やり直し (Redo) の機能はありません。

下地材単価マスタ

単価名称 2|フクイホーム 変更

m3単価1 | m3単価2 本単価 |

樹種 1杉 KD 等級 1無節

幅/せい設定 長さ(単位: mm) 価格(単位: 円/本)

幅	~30				~45				~60			
せい	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価	長さの範囲	発注単価	見積単価	定価
~45	3,000	910	1,140	0	3,000	1,370	1,710	0	3,000	2,280	2,880	0
	4,000	1,220	1,530	0	4,000	1,820	2,280	0	4,000	3,040	3,840	0
	4,001	1,620	2,030	0	4,001	2,420	3,030	0	4,001	4,001	5,001	0
~60	3,000	1,220	1,530	0	3,000	1,920	2,280	0	3,000	2,480	3,040	0
	4,000	1,620	2,030	0	4,000	2,430	3,040	0	4,000	3,040	3,840	0
	4,001	2,150	2,890	0	4,001	3,230	4,040	0	4,001	4,040	5,001	0
~90	3,000	1,820	2,280	0	3,000	2,730	3,410	0	3,000	3,650	4,560	0
	4,000	2,430	3,040	0	4,000	3,650	4,560	0	4,000	4,950	6,060	0
	4,001	3,230	4,040	0	4,001	4,950	6,060	0	4,001	6,060	7,560	0
~105	3,000	2,130	2,660	0	3,000	3,190	3,990	0	3,000	4,250	5,310	0
	4,000	2,840	3,550	0	4,000	4,250	5,310	0	4,000	5,650	7,060	0
	4,001	3,780	4,730	0	4,001	5,650	7,060	0	4,001	7,060	8,810	0
~120	3,000	2,550	3,190	0	3,000	3,830	4,790	0	3,000	5,110	6,390	0
	4,000	3,400	4,250	0	4,000	5,110	6,390	0	4,000	6,800	8,500	0
	4,001	4,520	5,650	0	4,001	6,800	8,500	0	4,001	8,500	10,610	0
121~	3,000	2,940	3,680	0	3,000	4,410	5,510	0	3,000	5,880	7,350	0
	4,000	3,910	4,890	0	4,000	5,880	7,350	0	4,000	7,820	9,780	0
	4,001	5,200	6,500	0	4,001	7,820	9,780	0	4,001	9,780	12,240	0

8 OK キャンセル 100% 7 上書 計算

下地材単価マスタの設定内容がクリップボードに複写されます。表計算ソフトなどに貼り付けることで、マスタの内容を出力できます。

物件マスタを更新する

自社用に登録した造作材マスタ、造作材単価マスタ、下地材マスタ、下地材単価マスタを、物件マスタに書き込んでおきましょう。

- 1 2 [物件初期設定 (マスタ環境 - 積算マスタフォルダ)] ダイアログを開きます。
- 3 [造作下地マスタタイプ] で、自社用に登録したマスタを選びます。
- 4 [単価マスタタイプ] で、単価を登録したタイプを選択します。
- 5 ~ 7 [物件マスタ書込] をクリックして、自社用の物件マスタを更新します。
- 8 [OK] をクリックします。

【物件初期設定：積算マスタフォルダ】

1 物件

2 積算マスタフォルダ

3 造作下地マスタタイプ

4 単価マスタタイプ

5 物件マスタ書込

8 OK

物件マスタ書込 <c:\yatzero\自社用マスタ\yat... ?

6 OK

キャンセル

名称変更

削除

マスタ書込

7 はい(Y) いいえ(N)

7 造作材配置

造作材配置では、基本データと造作材マスタをもとに造作材を自動配置します。[建具] [壁床] [外部] の3つのモードがあり、部材を確認して必要があれば造作材の追加や編集を行います。配置した造作材と造作材単価マスタから積算集計されます。

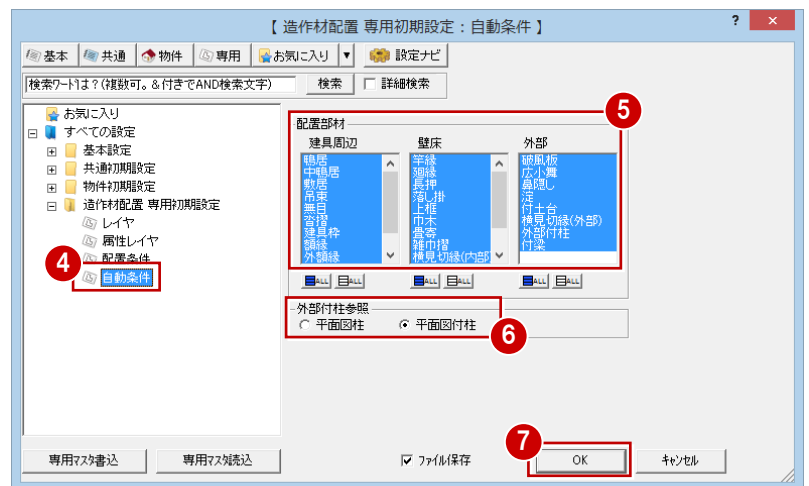
造作材配置を開く

- ① [処理選択] ダイアログの [積算] タブをクリックします。
- ② [造作材配置] をダブルクリックします。
- ③ [図面選択] ダイアログの「1階」をダブルクリックします。



専用初期設定を確認する

- ①② [専用初期設定 (配置条件)] ダイアログを開きます。
- ③ 積算する造作材の長さに仕口の余長を考慮する場合は、[仕口]に値を設定します。ここでは、「0」のままとします。
- ④ ツリーから「自動条件」を選びます。
- ⑤ 自動で配置したくない造作材がある場合は、[配置部材] で部材をクリックして白色表示にします。
- ⑥ 外部付柱を自動配置するとき参照する部材を設定します。
- ⑦ [OK] をクリックします。



自動配置されない部材

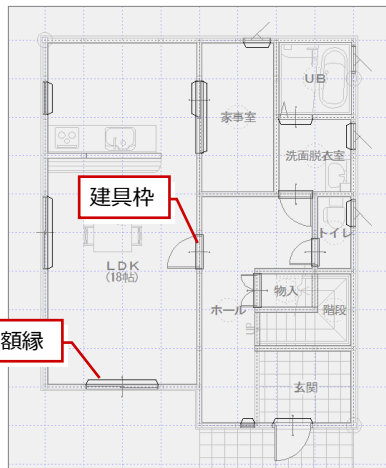
「縦見切縁」、「付柱」の「L型2枚」「コ型3枚」、「付桁」、「付束」は自動配置されません。

追加が必要な部材は、[建具] [壁床] [外部] メニューの各コマンドで入力します。

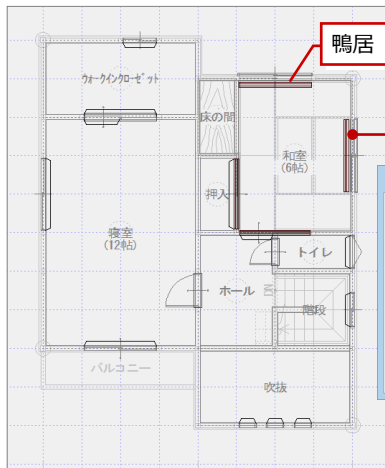
造作材を自動配置する

1階と2階の造作材を同時に配置しましょう。

- ① Shift キーを押しながら、[自動] をクリックします。
- ② 「1階」が選択されている状態で、Ctrl キーを押しながら「2階」をクリックします。
- ③ [自動立上] をクリックします。
- ④ 入力モードを変更して、部材を確認します。



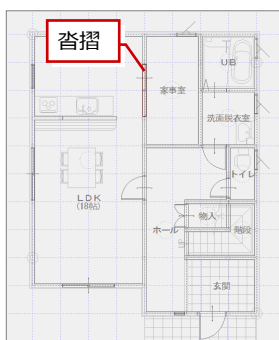
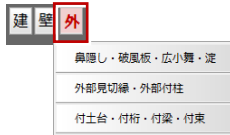
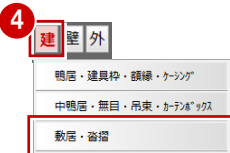
【1階 鴨居 建具枠 額縁 ケンガ】



【2階 鴨居 建具枠 額縁 ケンガ】



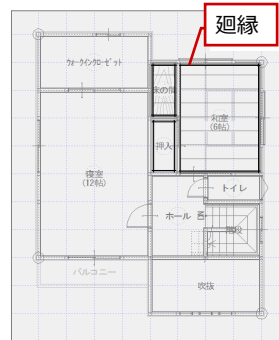
各部材の属性変更で、寸法や長さ、割付方法などを確認・変更できます。
[積算] ボタンでは、樹種・等級のみ変更できます。



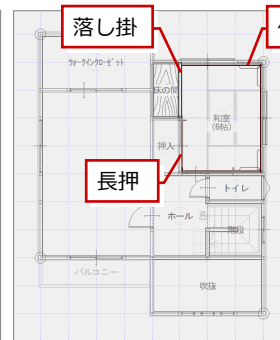
【1階 敷居 窓脇】



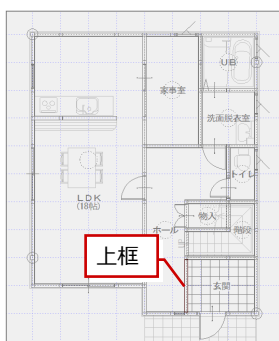
【2階 敷居 窓脇】



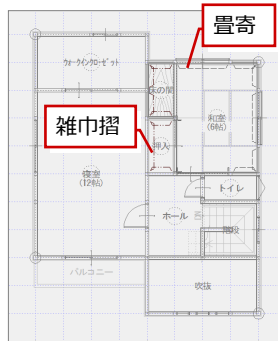
【2階 廻縁 手摺 見切縁】



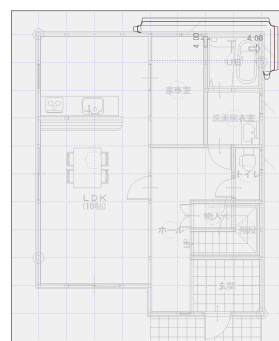
【2階 長押 落とし掛 付鴨居 付柱】



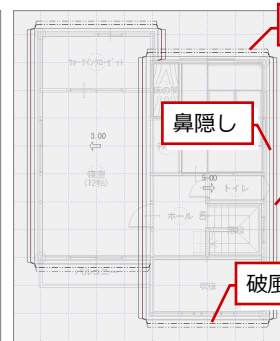
【1階 上櫃 巾木 畳寄 雑巾摺】



【2階 上櫃 巾木 畳寄 雑巾摺】



【1階 鼻隠し 破風板 広小舞 定】



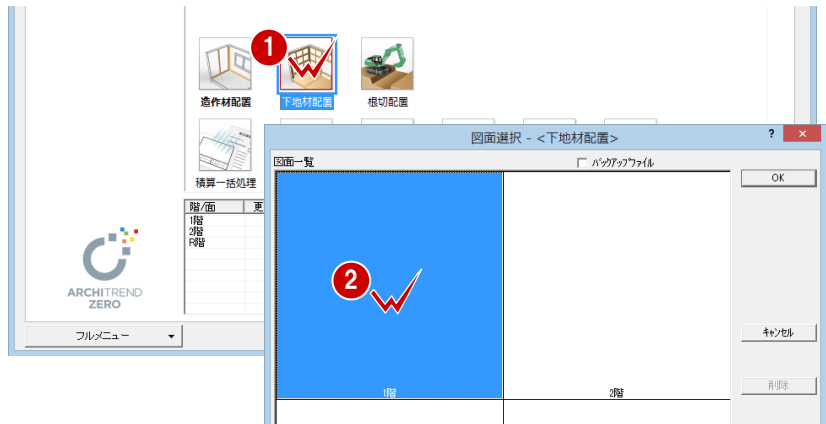
【2階 鼻隠し 破風板 広小舞 定】

8 下地材配置

下地材配置では、基本データと下地材マスタをもとに下地材を自動配置します。[天井] [壁床] [屋根] の3つのモードがあり、部材を確認して必要があれば下地材の追加や編集を行います。配置した下地材と下地材単価マスタから積算集計されます。

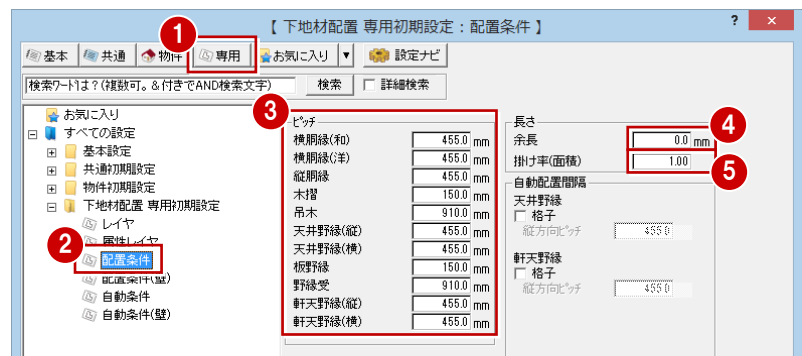
下地材配置を開く

- 1 [処理選択] ダイアログより [下地材配置] をダブルクリックします。
- 2 [図面選択] ダイアログの「1階」をダブルクリックします。



専用初期設定を確認する

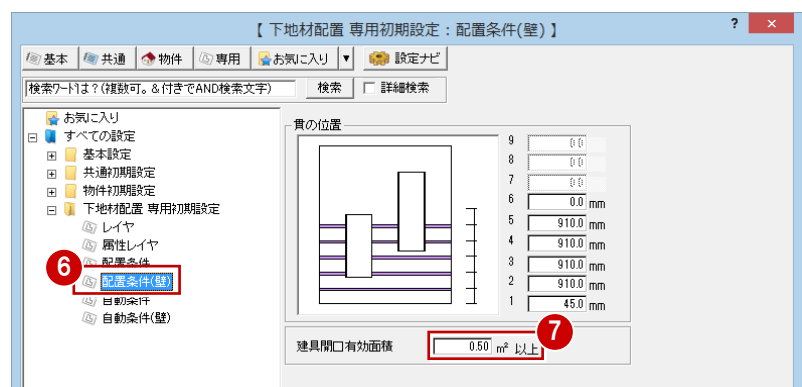
- 1, 2 [専用初期設定 (配置条件)] ダイアログを開きます。
- 3 [ピッチ] で、各部材の配置ピッチを設定します。
- 4 積算する下地材の長さに余長を考慮する場合は、[余長] に値を設定します。
- 5 [掛け率 (面積)] で、野地板、荒床板の面積掛け率を設定します。
ここで設定した値が、部材の面積に掛けられます。



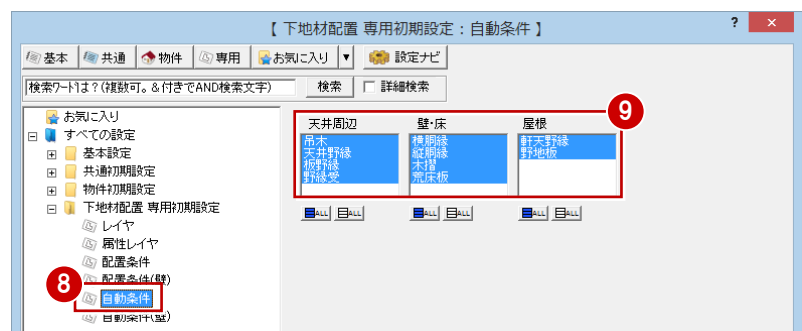
横胴縁のピッチ

部屋の壁作成タイプが「真壁」「押入壁」「付柱タイプ」のときは [横胴縁 (和)] のピッチで下から配置されます。
外壁および部屋の壁作成タイプが「大壁」「ケーシング」「枠タイプ」のときは [横胴縁 (洋)] のピッチで下から配置されます。

- 6 ツリーから「配置条件 (壁)」を選びます。
- 7 [建具開口有効面積] で、建具開口、出窓壁開口とみなす面積を設定します。
この設定値より小さい建具開口、出窓壁開口の領域には下地材が配置されます。
⇒ P.18 参照



- 8 ツリーから「自動条件」を選びます。
- 9 自動で配置したくない下地材がある場合は、部材をクリックして白色表示にします。



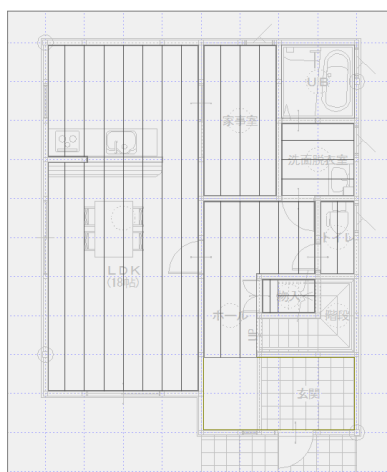
- 10 ツリーから「自動条件(壁)」を選びます。
- 11 [横胴縁配置条件][縦胴縁配置条件][木摺配置条件]で、横胴縁・縦胴縁・木摺を自動配置する壁仕上と内壁作成タイプを設定します。
[仕上タイプ]で[内壁][内腰壁]がONのとき、[内壁作成タイプ]の設定が有効になります。
- 12 [OK]をクリックします。



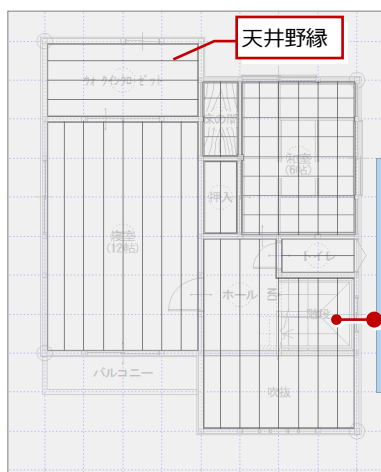
下地材を自動配置する

1階と2階の下地材を同時に配置しましょう。

- 1 Shiftキーを押しながら、[自動]をクリックします。
- 2 「1階」が選択されている状態で、Ctrlキーを押しながら「2階」をクリックします。
- 3 [自動立上]をクリックします。



【1階 天井野縁】



【2階 天井野縁】

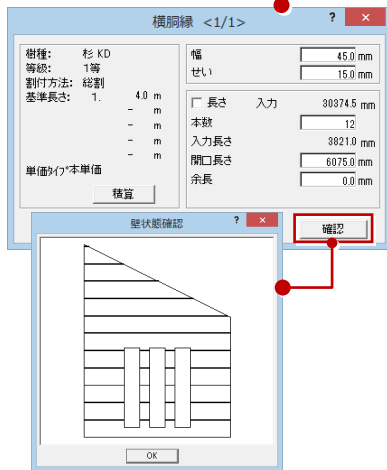
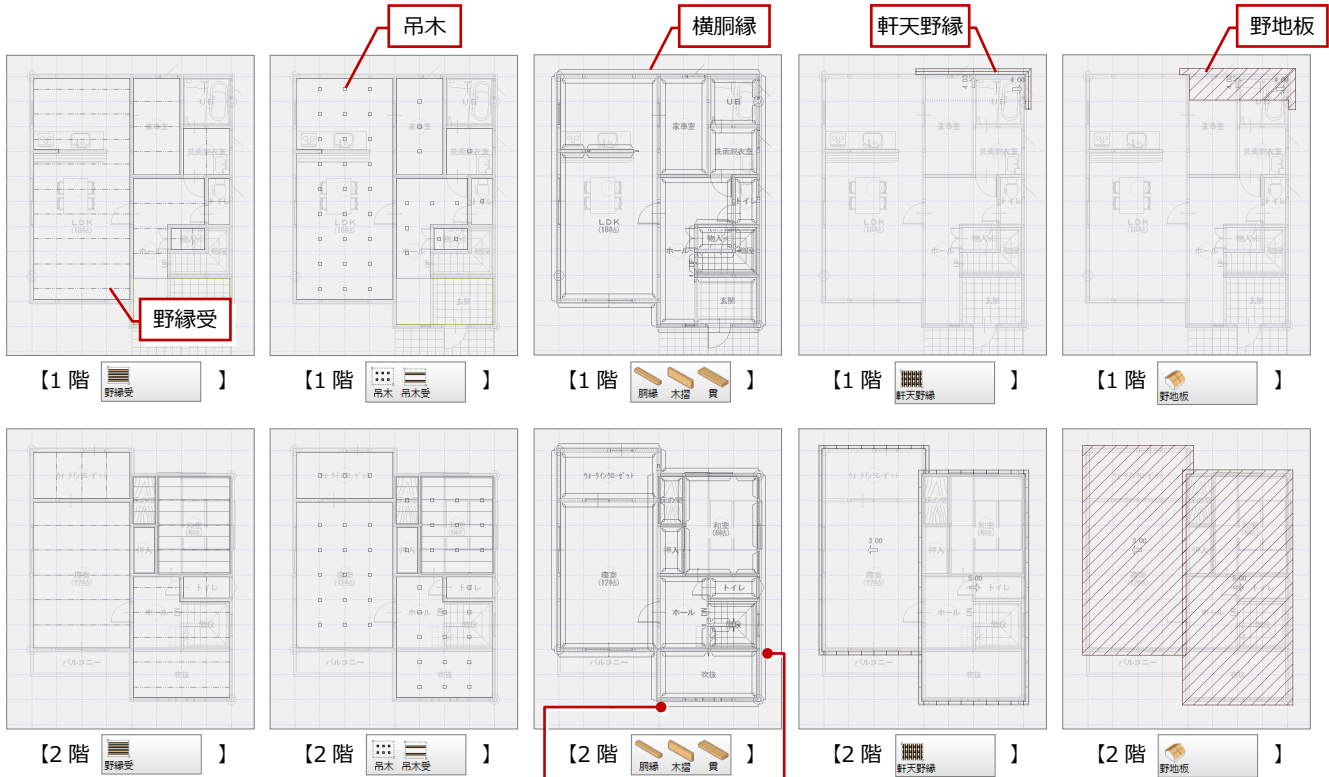
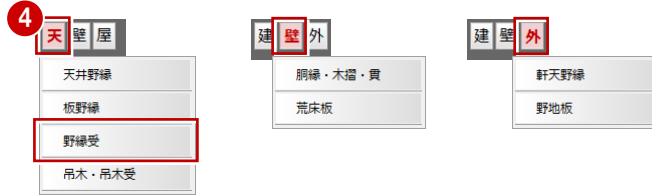


各部材の属性変更で、寸法や長さ、割付方法などを確認・変更できます。
[積算]ボタンでは、樹種・等級のみ変更できます。

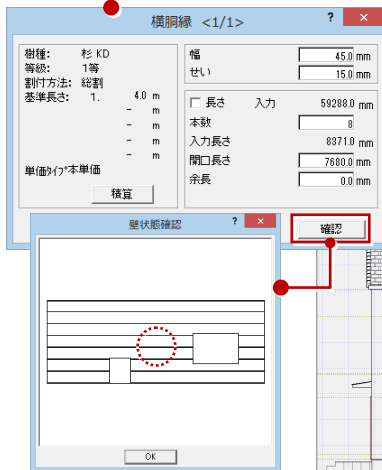
自動配置されない部材

「吊木受」「貫」は自動配置されません。
追加が必要な部材は、[天井][壁床][屋根]メニューの各コマンドで入力します。

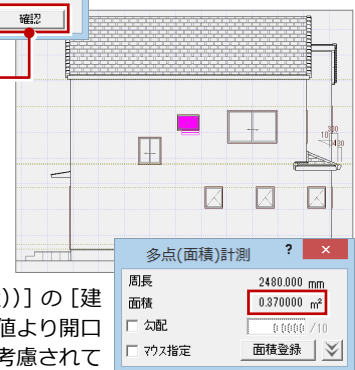
4 入力モードを変更して、部材を確認します。



胴縁の属性変更で [確認] をクリックすると、下地材と壁、開口の位置を確認できます。



[専用初期設定 (配置条件 (壁))] の [建具開口有効面積] で設定した値より開口面積が小さいと、開口として考慮されていないことを確認できます。

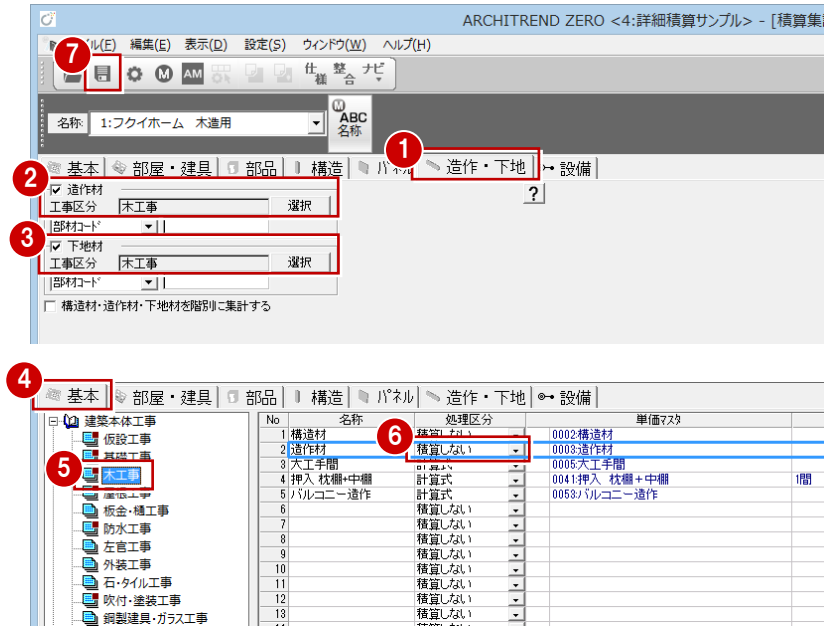


9 積算集計処理

積算集計マスタで造作・下地材の集計条件を設定して、積算してみましょう。

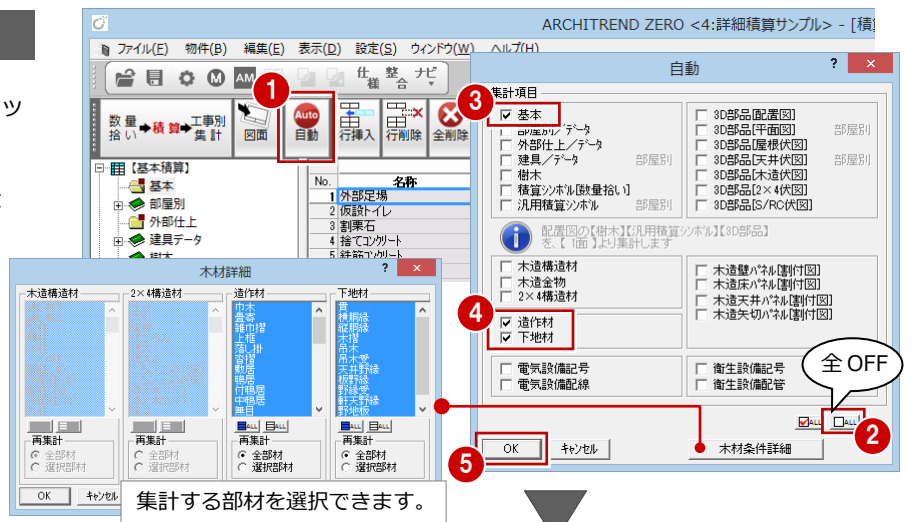
積算集計マスタを設定する

- 積算集計マスタの「造作・下地」タブを開きます。
- 「造作材」にチェックを付けて、集計する工事区分（ここでは「木工事」）を「選択」ボタンで選びます。
- 「下地材」にチェックを付けて、集計する工事区分を「選択」ボタンで選びます。
- 「基本」タブをクリックします。
- 基本積算で使用して今回不要な項目は、「処理区分」を「積算しない」に変更しておきます。
- 「上書き保存」をクリックして、積算集計マスタを保存します。



積算集計を実行する

- 「積算」画面を開いて、「自動」をクリックします。
- ～5 積算集計マスタで変更した項目をONにして、「OK」をクリックします。



- ツリーから「構造材・造作材・下地材」の「造作材」、「下地材」を選んで、集計された内容を確認します。

木材の表示順

「積算 専用初期設定 (木材順序)」で木材の表示順を設定できます。

造作・下地材の階別集計

積算集計マスタの「構造材・造作材・下地材を階別に集計する」をONにすると、造作材・下地材を階別に集計できます。

OFFのときは全階まとめて集計されます。「構造」タブと共通の設定です。

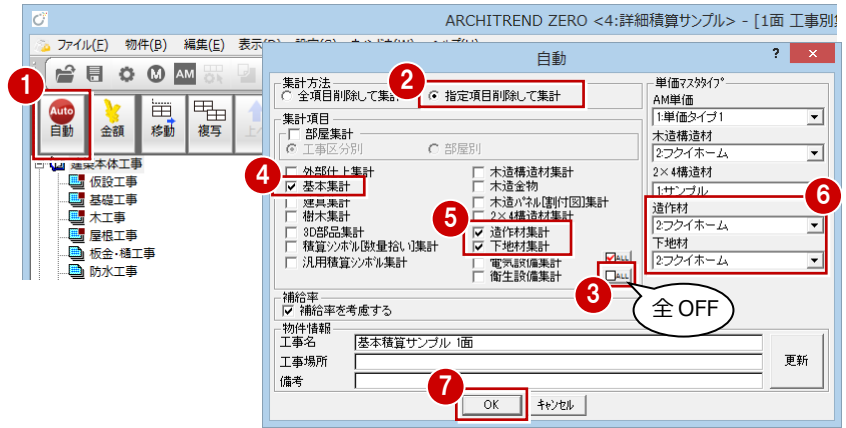
The screenshot shows the calculation results for '造作材' (Construction Material) and '下地材' (Underlayment Material). The table lists items with their names, calculation methods, tree species, grades, lengths, widths, thicknesses, quantities, and prices.

No.	名称	工事区分	樹種	等級	長さ	幅	せい	本数	仕積	発注	見積
1	畳巻	木工事	杉 KD	無節	2000	30	54	4	0.0130	1.220	1.530
2	踵巾摺	木工事	杉 KD	上小節	2000	10	15	4	0.0012	6.90	860
3	上梗	木工事	米松 KD	無節	1715	105	120	1	0.0216		
4	障子掛	木工事	杉 KD	無節	1820	105	55	1	0.0105	4.253	5,320
5	沓摺	木工事	米得 KD	無節	2000	90	12	2	0.0048	1.260	1,580
6	敷居	木工事	杉 KD	無節	2000	105	54	2	0.0227	4.253	5,320
7	敷居	木工事	杉 KD	無節	2000	105	40	2	0.0168	3.189	3,930
8	鴨居	木工事	杉 KD	無節	2000	105	40	4	0.0336	3.189	3,930
9	付鴨居	木工事	杉 KD	無節	4000	30	40	1	0.0048	1.220	1,530
10	長押	木工事	杉 KD	無節	4000	45	100	4	0.0720	4.250	5,310
11	建具枠	木工事	杉 KD	上小節	3000	180	24	10	0.1368	3.470	4,340
12	建具枠	木工事	杉 KD	上小節	3000	160	21	2	0.0202	3.470	4,340
13	建具枠	木工事	杉 KD	上小節	3000	105	24	2	0.0151	2.410	3,010
14	建具枠	木工事	杉 KD	上小節	2000	105	24	2	0.0101	2.410	3,010
15	建具枠	木工事	杉 KD	上小節	3000	53	45	2	0.0143	1.380	1,730
16	建具枠	木工事	杉 KD	上小節	3000	53	24	2	0.0076	1.380	1,730
17	額縁	木工事	杉 KD	上小節	3000	103	20	18	0.1112	2.410	3,010
18	額縁	木工事	杉 KD	上小節	2000	103	20	13	0.0536	2.410	3,010
19	額縁	木工事	杉 KD	上小節	3000	28	20	8	0.0134	6.90	860
20	額縁	木工事	杉 KD	上小節	2000	28	20	4	0.0045	6.90	860
21	額縁	木工事	杉 KD	上小節	2000	25	20	3	0.0030	6.90	860
22	廻縁	木工事	杉 KD	無節	4000	45	40	5	0.0360	1.820	2,280
23	廻縁	木工事	杉 KD	無節	4000	30	30	1	0.0036	1.220	1,530

No.	名称	工事区分	樹種	等級	長さ	幅	せい	本数	仕積	発注	見積
1	襖縁	木工事	杉 KD	1等	4000	45	15	384	1.0368		
2	吊木	木工事	杉 KD	1等	2000	45	45	24	0.0972		
3	天井野縁	木工事	杉 KD	1等	4000	45	45	49	0.3869		
4	野縁	木工事	杉 KD	1等	4000	45	90	27	0.4374		
5	軒天野縁	木工事	杉 KD	1等	4000	45	45	3	0.0345		
6	野地板	木工事	杉 KD	1等	2000	150	12	249	0.8964		
7					0	0	0	0	0.0000		
8					0	0	0	0	0.0000		
9					0	0	0	0	0.0000		
10					0	0	0	0	0.0000		
11					0	0	0	0	0.0000		

工事別集計を実行する

- ① [工事別集計] 画面を開いて、[自動] をクリックします。
- ② [指定項目削除して集計] にチェックを入れます。
- ③～⑤ 積算集計マスタで変更した項目だけを ON にします。
- ⑥⑦ [単価マスタタイプ] の [造作材] [下地材] が自社用の構造材単価マスタになっていることを確認して、[OK] をクリックします。
- ⑧ ツリーから「木工事」を選んで、集計結果を確認します。



No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
96	畳巻	2000×30×54 杉 KD 無節	4.0000	本	1,220	1,530
97	雑巾摺	2000×10×15 杉 KD 上小節	4.0000	本	690	860
98	上框	1715×105×120 米松 KD 無節	1.0000	本	0	0
99	藩し拵	1820×105×55 杉 KD 無節	1.0000	本	4,253	5,320
100	番拵	2000×90×12 米松 KD 無節	2.0000	本	1,260	1,580
101	敷居	2000×105×54 杉 KD 無節	2.0000	本	4,253	5,320
102	敷居	2000×105×40 杉 KD 無節	2.0000	本	3,189	3,990
103	鴨居	2000×105×40 杉 KD 無節	4.0000	本	3,189	3,990
104	内鴨居	4000×30×40 杉 KD 無節	1.0000	本	1,220	1,530
105	長拵	4000×45×100 杉 KD 無節	4.0000	本	4,250	5,310
106	建具枠	3000×190×24 杉 KD 上小節	10.0000	本	3,470	4,340
107	建具枠	3000×160×21 杉 KD 上小節	2.0000	本	3,470	4,340
108	建具枠	3000×105×24 杉 KD 上小節	2.0000	本	2,410	3,010
109	建具枠	2000×105×24 杉 KD 上小節	2.0000	本	2,410	3,010
110	建具枠	3000×53×45 杉 KD 上小節	2.0000	本	1,380	1,730
111	建具枠	3000×53×24 杉 KD 上小節	2.0000	本	1,380	1,730
112	額縁	3000×103×20 杉 KD 上小節	18.0000	本	2,410	3,010
113	額縁	2000×103×20 杉 KD 上小節	18.0000	本	2,410	3,010
114	額縁	3000×28×20 杉 KD 上小節	8.0000	本	690	860
115	額縁	2000×28×20 杉 KD 上小節	4.0000	本	690	860
116	額縁	2000×25×20 杉 KD 上小節	3.0000	本	690	860
117	廻縁	4000×45×40 杉 KD 無節	5.0000	本	1,820	2,280
118	廻縁	4000×30×30 杉 KD 無節	1.0000	本	1,220	1,530
119	廻縁	3000×30×30 杉 KD 無節	1.0000	本	910	1,140
120	破風板	4000×36×180 杉 KD 上小節	5.0000	本	4,440	5,550
121	広小舞	4000×90×30 杉 KD 上小節	8.0000	本	2,750	3,440
122	溜	4000×90×30 杉 KD 上小節	5.0000	本	2,750	3,440
123	鼻隠し	4000×30×180 杉 KD 上小節	8.0000	本	2,960	3,700
124	横綱縁	4000×45×15 杉 KD 1等	384.0000	本	0	0
125	吊木	2000×45×45 杉 KD 1等	24.0000	本	0	0
126	天井野縁	4000×45×45 杉 KD 1等	49.0000	本	0	0
127	野縁受	4000×45×90 杉 KD 1等	27.0000	本	0	0
128	軒天野縁	4000×45×45 杉 KD 1等	3.0000	本	0	0
129	野地板	2000×150×12 杉 KD 1等	249.0000	本	0	0
130			0.0000		0	0
131			0.0000		0	0

造作材・下地材の集計

[工事別集計 専用初期設定 (自動-集計条件)] の [トータルで集計する] を ON にすると、造作材・下地材を一式で集計できます。

OFF のときは、選択されている集計タイプ (「本」「体積」「本/体積」) で集計されます。

- ・「本」: 造作材マスタ・下地材マスタの単価タイプにかかわらず「本」で集計
- ・「体積」: 造作材マスタ・下地材マスタの単価タイプにかかわらず「m3」で集計
- ・「本/体積」: 造作材マスタ・下地材マスタの単価タイプが「m3」のものは「m3」、 「本」のものは「本」で集計

